

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム
プロジェクト推進型 SBIR フェーズ1 支援
2022 年度事後評価結果

グラント番号	JPMJST2256
研究開発課題名	人工知能構音識別モデルによるひずみ音の自動評価システムの開発
研究代表者	茨城大学 教育学部 助教 石田 修

総合評価

技術面では、AI システムを外注に依存することに対する懸念に加え、精度評価の環境についての情報が不足しているため、実用上十分な識別精度が出るのかやや不明確である。しかし、障害者への理解と本取り組みに対する熱意があり、本研究開発中に出てきた課題に対する調査を通して、次のフェーズへ向けた課題を明確化して計画を立てている点は評価できる。

以上